

# 2021年度学校法人幾徳学園事業計画

## 1. 理念・目的

- (1) 大学・学部・研究科の理念・目的を定期的・体系的に検証する仕組み  
(外部動向を理念・目的と中長期方針への反映)
- (2) 長中期計画をベースにした各部門の具体的事業計画との整合

## 2. 内部質保証

### 2-1 内部質保証

- (1) 内部質保証システムの運用と適切性の継続的な検証と改善
- (2) 内部質保証システムを有効に機能させるためのPDCAサイクルの点検と評価、改善
- (3) 自己評価委員会の運用・点検・改善
- (4) 内部質保証委員会および自己評価委員会と関連委員会の連携機能強化の点検
- (5) 大学ポートレートの内容充実による情報公開の継続的な推進

### 2-2 3つのポリシーに基づく教育の質保証と向上

- (1) 現行の3つのポリシーの点検・見直し
- (2) 3ポリ運用委員会によるポリシー運用実効化の推進
- (3) 3つのポリシーに基づく教育の質保証PDCAサイクルの点検と改善
- (4) 3つのポリシーに基づく教育の質保証評価結果の外部公表の検討

## 3. 教育研究組織

### 3-1 基礎・教養教育センター

- (1) 学科教育との連携強化、適合性の検討と改善
- (2) 学問の動向、社会的要請、大学を取巻く環境等、現状のみならず将来を展望した教育方針ならびにオンライン授業の活かし方の検討

### 3-2 図書館

- (1) 学生がくつろぎ、やすらぎ、英気を培うサードプレイスの形成
- (2) 自ら動き積極的に情報発信する仕組みの整備と推進
- (3) 従来の価値観の捉われない21世紀型の図書館インフラとコレクションの整備
- (4) 学術情報と学習情報の整備と利用促進

### 3-3 情報教育研究センター

- (1) 本学の情報システムの統合化と管理運用の改善
- (2) 学内ICT設備のセキュリティレベル改善とセキュリティ啓蒙活動の推進
- (3) ICTを活用したオンライン教育の推進

- (4) 数理・AI・データサイエンス教育の推進
- (5) 研究部門の充実と成果の評価、管理体制の点検・評価
- (6) IT教育シンポジウムの開催

### 3-4 工学教育研究推進機構

- (1) 外部資金の導入促進（大型競争的資金導入の実現含む）
- (2) 研究活動における不正行為防止への対応（倫理教育の徹底等）
- (3) 組織的な教育研究への支援（研究ブランディング事業等）
- (4) 地元企業との産学共同研究の推進
- (5) 大学内の人的資産を集結した研究の提案と推進強化（先進AI研究等）
- (6) 大学発ベンチャの支援
- (7) 研究広報の啓蒙と支援

### 3-5 教育開発センター

- (1) 3つのポリシーPDCAサイクルに関連したFDの企画と実施
- (2) 教育力向上のためのFDプログラム実施・受講状況改善（オンラインFDの検討）
- (3) カリキュラムにあわせた学習成果評価方法の提案と試行
- (4) DP到達度を評価できるアセスメント方法およびディプロマ・サプリメントの開発
- (5) オンライン教育を活用したリカレント教育、大学中途退学者向け教育の計画

### 3-6 国際センター

- (1) 国際交流促進（特に東南アジア諸国との連携・協力関係の推進）
- (2) 学術交流協定の促進と協定校との関係強化（オンラインの活用含む）
- (3) 国際的なシンポジウムや講演会の企画・実施
- (4) 英語版大学ホームページのさらなる充実（各学科・センターの教員の最新、詳細な研究内容の紹介等）による外国向け情報発信の強化
- (5) 海外留学の支援、留学生の受入れ体制の充実（特に東南アジア諸国からの留学生受入れ推進等）、短期研修コース受入れ体制の整備、インターナショナル・ラウンジ等情報交流の場の充実
- (6) グローバル化対応のためのSDの実施、海外インターンシップの実施、外国人留学生、外国人教員と地域住民との交流、公開講座など、グローバル化環境の整備
- (7) GAA(Global Access Asia)への参加
- (8) TOEIC等の英語認定資格の受験者拡大と運営の推進

### 3-7 教職教育センター

- (1) 教職教育の質保証PDCAサイクルの点検と改善
- (2) 教職教育のFDテーマの検討
- (3) 教育職員免許法施行規則に基づく質保証評価結果の外部公表の検討
- (4) オンライン授業における教職教育の質保証に関する検討

### 3-8 IR・企画推進室

- (1) エンロールメント・マネージメントの分析の提供による AP に則った学生確保および適切な学生支援の充実
- (2) 継続的な 18 歳人口減少に対応できる戦略の検討、策定に寄与する情報収集整理と分析
- (3) 学生支援のための学生データベースの充実
- (4) 本学の事業活動立案に寄与する情報収集および分析結果の副学長・学部長会議、理事会への提供促進

### 3-9 地域連携・貢献センター

- (1) 厚木市内 5 大学の連携協定による地元市の課題解決への実践
- (2) 5 大学協働による厚木市の安心安全を目指すセーフコミュニティへの貢献としての地域連携災害ケアプロジェクトの組織化
- (3) 社会人看護師対象の履修証明制度として開講した「認定看護管理者教育課程ファーストレベル」による厚木市周辺の医療機関等の看護師教育推進
- (4) 大学所有設備、資産を活用した厚木市内を中心とした小中学生対象の理数教育推進

## 4. 教育課程・学習成果

### 4-1 学部における教育内容・方法・成果

- (1) DP および CP の学生への周知と履修指導の点検と改善
- (2) 成績評価、単位認定の適切な実施に向けた点検と評価、改善
- (3) キャリア系科目の運用の点検と改善
- (4) シラバス内容と授業実施との点検と改善
- (5) CAP 制単位数の見直しと実質化
- (6) DP および CP に基づいた学位課程に適切な授業科目の設置と教育課程の体系的な編成の点検と改善
- (7) 各学位課程での編成方針および教育内容の妥当性評価と改善
- (8) 教育に関わる IR 評価や学生の自己評価などの情報のカリキュラム・教育指導への反映と改善
- (9) 学位課程内の各種教育プログラムの実施状況の評価と改善
  - ① スーパーサイエンス特別専攻の教育プログラムの運用の点検と改善
  - ② JABEE（日本技術者教育認定機構）教育プログラムの運用の点検と改善
  - ③ Stop the CO<sub>2</sub>教育プログラムの実施状況の運用の点検と改善
  - ④ AI リテラシー教育プログラムの運用の点検と改善
- (10) 教育課程の大括り化に向けた教育方針及び教育手法の検討と策案

### 4-2 大学院における教育内容・方法・成果

- (1) 現行の 3 つのポリシーおよびカリキュラムの見直し
- (2) 研究指導計画（研究指導方法、スケジュール等）の学生への明示方法の改善
- (3) 各専攻の学位論文の審査基準の確認と統一化の検討
- (4) 英語による授業導入案の検討と提案

- (5) 入学者増へ向けた施策の立案と実施
- (6) 大学院におけるFDの推進
- (7) 社会人向け大学院教育の方法、カリキュラムの検討

## 5. 学生の受け入れ

- (1) 入学者選抜統括委員会の運用と委員会活動への自己点検および評価
- (2) 高大接続改革の初年度における各選抜方式の評価
- (3) 合理的配慮を必要とする受験生について、その「合理的配慮」の策定と公表
- (4) アドミッションオフィスの運用と点検・評価
- (5) 入学前教育の充実（入学後の教育体系との連携）
- (6) 入学定員超過率の厳格管理の継続的推進
- (7) 大学院博士前期課程の入試方式および選抜基準の検討

## 6. 教員・教員組織

- (1) 時代変化に対応した新学部学科構成の検討（検討プロジェクトの発足・推進）
- (2) 学部学科の将来計画と経営を考慮に入れた教員配置
- (3) 教員組織の点検・評価の仕組みの構築とそれに基づく行動計画方針の検討
- (4) 教育研究活動をより一層推進するための教員組織、教育支援の検討
- (5) 教育成果のさらなる向上と本学の特徴のアピールも考慮した教育開発、推進の拠点構築の検討と実施
- (6) 多様な教育内容へ対応するために実務家教員、外国人教員の採用の検討

## 7. 学生支援

### 7-1. 学生指導とサービスの向上

- (1) 学生支援方針の策定・公開
- (2) 全学サポート体制組織による支援体制の充実、障害者差別解消法への適切な対応（学生支援総合会議および障害学生支援検討委員会の運用、支援ボランティア学生の育成）
- (3) 修学支援新制度の円滑な運用と対象学生への学修支援の充実
- (4) コロナ禍継続を前提とした中退防止のための大学全体の取組体制（教務委員会、学生部委員会、学生サポート室、IR・企画推進室の連携）の強化
- (5) コロナ禍継続を前提とした各種スポーツ、文化活動の支援（学生組織との連携による支援）
- (6) 学生相談室、健康管理室、学生サポート室などによるコロナ禍における学生相談、学修支援の強化

### 7-2. 就職支援

- (1) 就業力育成支援の推進（インターンシップ、産学連携プログラムへの参加学生増加に向けた支援体制強化、学生のキャリア力の評価、教職員のキャリア支援に関する研修会の充実等）
- (2) キャリア支援の見直しと充実

- (3) 大学院生・留学生の就職（進路）支援強化
- (4) 就職率の向上、離職率の低減化策の検討
- (5) 新分野企業を含む新規就職先の開拓と連携強化
- (6) 卒業生へのアフターケアの強化（進路未決定者・転職希望者への支援を含む）

## **8. 教育研究等環境**

- (1) 教育研究施設をはじめとした本学施設・設備整備方針の公表
- (2) 教育研究施設をはじめとした本学施設の安全対策推進および老朽化対応
- (3) 施設保全・学内安全確保を目的とした教育研究等機器・設備の屋外設置および構内試験走行等に関するガイドラインの策定。
- (4) 災害に強いキャンパス化の推進（耐震化率100%への推進、ウイルス感染症対策向上、備蓄食料・災害時備品の充実、自家発電能力の増強検討等）
- (5) 省エネルギー化およびエコ活動の推進

## **9. 社会連携・社会貢献**

- (1) 社会連携・社会貢献の具体化に向けた方針の策定と公表
- (2) 厚木市との包括協定に基づく地域連携の推進（災害対策として広域避難協定等）
- (3) 幼稚園および保育園の年長組・小中学校・高校の教育支援、高大接続・連携の充実
- (4) 社会人再教育、あつぎ協働大学における講座、生涯教育体制の整備・充実
- (5) 厚木市内5大学を含め、神奈川県内大学との連携強化
- (6) 企業との産学共同研究の推進
- (7) 本学の教育・研究成果をアピールするシンポジウムの開催
- (8) 地域との連携・協力に効果的な本学施設の活用（学生および行政・地域住民による有効利用等）
- (9) 学生・教職員の大学外エコ活動や地域イベント参加などの大学外貢献活動の推進

## **10. 大学運営・財務**

### **10-1. 大学運営**

- (1) 学生本位主義をより鮮明にした諸施策の検討・実施
- (2) 最適な運営体制の検討（学長を中心とした教学ガバナンス体制の強化）
- (3) 継続的な18歳人口減少に対応する学部・学科体制の見直し、本学独自の優位性を保てる施策などの検討
- (4) 戦略的経営による経営力の強化（より効率的な組織の検討と移行）
- (5) オンラインでの全学的なSDの計画的実施の継続と研修内製化のための人材育成
- (6) リモートワークに対応する勤務形態の検討と帳票電子化を志向した業務体制の管理・運営
- (7) 学園創立60周年に向けた組織編成、企画等の検討・実施
- (8) ICT統括本部による学園全体のシステムの今後の運用体制の構築と全学的インフラ整備の推進
- (9) 全学的な危機管理体制の整備（多様化する危機要因の分析と発災時対応の準備）

- (10) 監事、監査室等による監査体制の充実強化および三様監査の連携強化とコンプライアンス体制の充実強化
- (11) 新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえたホームカミングデーのあり方の検討

#### 10-2. 財務

- (1) 財務分析に基づく収支構造の継続的な見直しにより資源配分の最適化を実施
- (2) 全学的なIT教育研究基盤の再構築に伴う適切な設備投資の検討
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえたインフラ整備や感染対策等に関する機動的な予算措置の検討
- (4) 収支均衡の確保、財務基盤の安定化（予算策定・実施における統制の強化）と拡充

#### 10-3. 広報

- (1) 研究ブランディング事業での高校生組織の構築
- (2) WEBを含めたオープンキャンパスの充実
- (3) ターゲットを明確にした広報媒体の充実
- (4) 神奈川県内高校との高大連携活動の強化
- (5) マスコミへのアプローチ強化
- (6) 地域イベントの広報面での効果的な実施

(以上)

#### \*注 ①3つのポリシー

DP（ディプロマ・ポリシー）：卒業認定・学位授与の方針

CP（カリキュラム・ポリシー）：教育課程編成・実施の方針

AP（アドミッション・ポリシー）：入学者受入れの方針

#### ②FD（ファカルティ・ディベロップメント）

：教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組

#### ③SD（スタッフ・ディベロップメント）

：職員（事務職員のほか、教授等の教員や学長等の大学執行部、技術職員等も含まれる）が大学等の運営に必要な知識・技能を身に付け、能力・資質を向上させるための取組